

CONTENTS

● 「2014 楽器フェア」 AMEI イベント開催報告	1 ~ 5
● 慶應 SFC ORF2014 Web and Music レポート・Music China MIDI Web MIDI API 講演レポート	6
● 国際電気標準会議 (IEC) 東京大会報告	7
● AMEI 会員名簿・MIDI 検定 2 級 2 次試験開催のお知らせ	8

2014楽器フェア AMEIイベント開催報告



平成26年11月21日より11月23日まで3日間にわたって「2014楽器フェア」が東京ビッグサイトにて開催されました。2年ぶりの開催となった楽器フェアですが、AMEIはここ数回一貫してセミナーを開催して参りました。前回の閑散としたフェアから一変し、実入場者数で4万を超えた今回のフェアは、一般のお客様に楽器というコンセプトで様々な楽しみ方を提案する中、AMEIの存在と会員の製品発表や新しい技術の提案の場として、本セミナーを活用戴けたのではないかと考えております。

今回は7つのセッションを開催しましたが、その中でMIDIケーブルを使用したのは1セッションだけでした。これはMIDIが使われなくなったという訳では無く、コンピュータやネットワーク環境の進化に応じて、MIDIの伝送路も様々な姿を変え、音楽制作やライブにおいてなくてはならないものとして利用されています。今回、楽器フェア会場ではYMOの使用楽器の展示やミニライブ等が行われていて、おなじみのタンスや一世を風靡したアナログシンセが並んでいましたが、当時の演奏機材のセッティングの苦労を考えると、今や一般の方がコンピューター一台で手軽に同じような事が出来るようになってきています。今後とも、これらの進化に対応したMIDIやオーディオのバックボーンとしての、AMEIのより一層の発展を願って止みません。 <事業委員会 委員長 大谷 良輔>

「これぞ王道！の打ち込み入門」セミナー

内藤 朗 (JSPA)

3年ぶりの楽器フェアも盛況のうちに終わりましたが、私の担当した初日(21日)に行われたセミナーについてご報告いたします。今回のセミナーでは、もう一人の講師であるJSPAの安保氏にご協力頂いて、今や当たり前となっているMIDIやオーディオを使用した楽曲制作において「MIDIをもう一歩活用することで更に何ができるのか」を知って頂くことをテーマにコンテンツを考案いたしました。その上で今日の音楽制作には不可欠となっているボーカロイド(セミナーでは実際に学研さんのポケットミクを音源に使用)やオーディオ編集などについても採り入れることで、まさに温故知新的な内容となり、セミナーテーマである「王道」とは何かを伝えることができたのではないかと思います。当日のセミナー本番では受講席もほぼ満席となり、まだまだMIDIの打ち込みへの関心度は高いことを実感しつつ、コンテンツを一通りレクチャーいたしました。また、音楽制作を行う上で有益な知識や技術の裏付けとなるMIDI検定についても、会場に来ていたJSPA会員でありMIDI検

定保持者の相原氏に飛び入り頂き、MIDI検定の普及や関心度を高めることにご協力頂くなど、60分の短い時間ながらも来場者へ十分伝えることができましたと思います。

これぞ王道！の打ち込み入門セミナー
 ■東京ビッグサイト西2ホール 中2階セミナーホールD会場
 □11月21日(金) 15:00開演

A-1・2・3・DAW (名子、名子、サン、ダウ！)

安保亮 (AMBO Akira)
 レーベル「A-String」(www.a-string.com)を主宰し、プロデューサー、作・編曲、エンジニアもこなす。92年よりギター・インストラクターを始め、95年頃からDITMや音楽制作を中心に活動。GIGS、サンギターなどで20年以上に渡り音楽ライターとしても活動し、著書も多数。デジタル機器や楽器の開発にも関わる。2008年より日本工学院八王子専門学校にて作曲/DAW等の講師を務める。一般社団法人日本シンセサイザー・プログラマー協会(JSPA) 個人会員。

内藤 朗 (NAITO Akira)
 キーボーディスト、シンセサイザー・プログラマー、サウンドクリエイターとして作曲からレコーディング制作、ライブ演奏など多岐に渡る分野で活動中。音楽制作系のライターとしても広く知られ、DITMマガジン、サウンドデザイナー誌などで様々な記事を執筆。有明会社FOMIS代表取締役、FOMIS Mu-Tech LAB主宰、専門学校横浜ミュージックスクール非常勤講師、一般社団法人日本シンセサイザー・プログラマー協会(JSPA) 個人会員、同協会MIDI検定事業部長。



これぞ王道！の打ち込みセミナー 内藤 朗氏/安保 亮氏/相原 耕治氏



ABILITY Pro1.5 徹底講座：篠田 元一氏/村上 昇氏/小川 悦司氏

「DAW マエストロ MIDI 検定1級」セミナー

MIDI 検定委員会委員長 大浜 和史

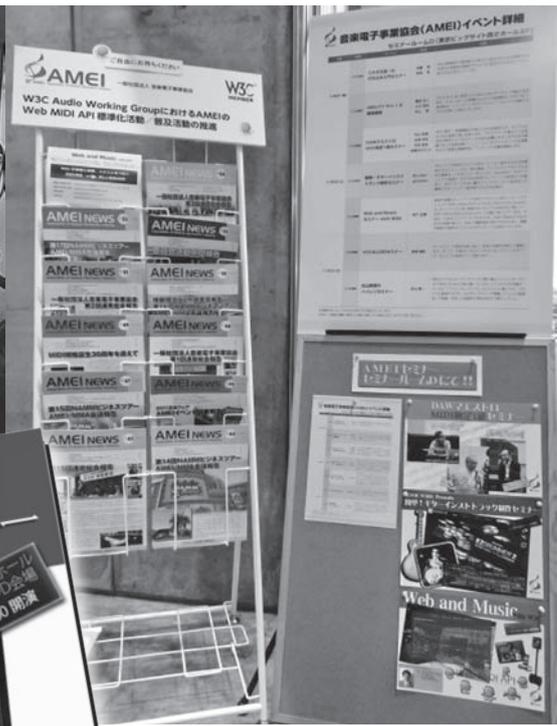
東京ビックサイトを会場に久々の都内開催となった今年の楽器フェアは、天候にも恵まれ初日から多くの来場者で賑わっていました。

AMEIセミナー11月22日は11時より「DAW マエストロ MIDI 検定1級セミナー」を行いました。この講座は毎年 MIDI 検定1級の課題曲を作曲して頂いている外山和彦氏にそのスコアに込められた想いを直接語って頂き、音楽制作に関わる方々に知識を深めて頂く事を目標に昨年より始めました。音符と記号についての解釈の説明に入ると参加された皆さんは興味深々。なにせ1級課題曲スコアは今まで未発表ですから、この楽譜も今年受験された方しか見た事がないのです。それをお手本 MIDI データで再現するのは、外山さんの良き理解者でもある北城浩志氏。さらに今回はヴァイオリン、ヴィオラ、チェロの演奏家に登場頂き、様々な演奏法を生で実演頂きました。まず表現の手法としてテーマとなったのはボウイング。弓の返し弓使いとフレーズの関係。さらに演奏者が行うメロディーを膨らませる音楽性。様々な音

楽の要素の奥の深さに関心し、ため息のでる受講者も多く、最後の MIDI データと弦カルテットの共演では、その表現の迫力一同感動し拍手喝采で終了となりました。



MIDI 検定1級セミナー
外山 和彦氏 / 弦楽カルテット



簡単! ギターインストトラック制作セミナー：ぎんじねこ氏

「Web and Music」セミナー with W3C

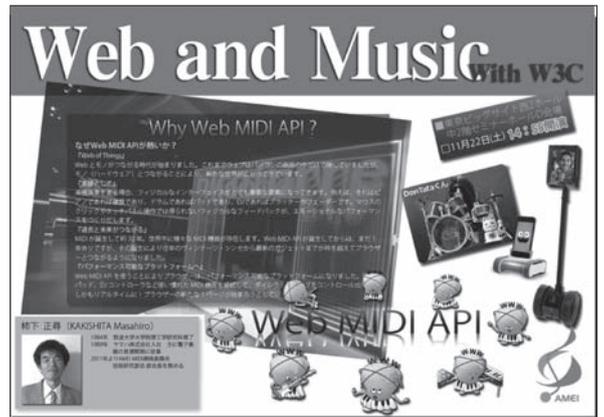
11月22日、楽器フェア2014セミナールームDにて、「Web and Music セミナー with W3C」と題しセミナーを行いました。タイトルからは楽器との関わりが見えにくく、お客様に来ていただけるか不安もありましたが、30名以上の方に聞いていただくことができました。

30年前、楽器と楽器をつなぐフォーマットとして誕生したMIDIは、Web MIDI API を通してブラウザが理解するフォーマットとなりました。ブラウザとつながることで、音楽や楽器はどのように変わっていくのでしょうか？ AMEIは、ネットワークと共に音楽のわくわくする未来を切り開くべく、昨年W3C (World Wide Web Consortium) の会員となり、その活動に協力しています。

今回のセミナーは、六本木ニコファーレで同時刻に開催されていた、Open Research Forum 2014 の同名のイベントと結んで、Web の最新技術を紹介いたしました。デモンストレーションでは、楽器フェア側に置かれている鍵盤を叩き、MIDIのノート情報をブラウザとネットワークを介して、ORF会場へ送ります。ORF会場に置かれたDONTATAくんやRomo、Double Roboticsといったロボットが送られてきたMIDIで動作するというモノでした。非常にプリミティブなデモンストレーションであったかもしれませんが、しかし、特殊な機材を使わず、手元にあるブラウザとネットワークを使ってこれだけのことができる、ということを説明致しました。

これらの技術がW3Cにより標準化され、敷居が下がることで、誰でも使えるようになります。楽器とネットワーク、楽器と楽器、人と人が時間と場所を越えてつながることでアイデアが生まれ、そして新たな音楽の価値観を生み出してくれるものと確信しています。

MIDI規格委員会 技術研究部会 部会長 柿下 正尋





TV局の密着取材中

VOCALOID セミナー 剣持 秀紀氏
最新エンジン VOCALOID4 を発表

「デジタルオーディオの現在」ハイレゾセミナー

マルチメディアコンテンツ委員会委員長 古山 俊一



ハイレゾセミナー：古山 俊一 尚美学園大学芸術情報学部音楽メディアコース主任教授



楽器フェアの最終日11月23日にAMEIのセミナールームで「古山教授のハイレゾセミナー」を行った。「ハイレゾ」は「ハイレゾリューション」の略で高解像度のクオリティーの高いオーディオ情報の事でCDよりも高解像度のフォーマットのオーディオデータである。

最初にお聞かせしたのはバレエ試演会でのオーケストラピットを録音したものの。ピットのオーケストラを2本のマイクで録音した。マイクを40センチのマイクバーに取り付けプリアンプで信号をバラって同じ信号を2台の録音機に接続した。1bitレコーダー (KORGMR-1000) とマルチトラックレコーダー (RolandR-88) である。

いわゆるワンポイント録音であるが無指向性マイクを使うことでマイクの周囲の音を集音することができるためホールの響きも録音できる。また解像度が高いマイクを使用しているためきめ細かい音質で集音できた。映像も収録してあったのでまず雰囲気を紹介するためブルーレイでバレエの様子を見ていただいた。ビゼーの「カルメン」の一部を取り上げた。

次にそれぞれのオーディオを聞き比べたがセミナーではKORGのハイレゾに対応した再生ソフト「オーディオゲート3」でプレイバックした。オーディオインターフェイスにはKORGの「DS-DAC-100」を使用した。また最終的な音出しはヤマハのPAシステムを使った。リハーサルでは同じ曲で1ビットと24/96の聞き比べをお客さんの座る場所ですてみたが1ビットの音のふくらみや精緻さや24.96とのキャラクターの違いが明らかにわかるので安堵した。

2つ目は私の教えている大学院生のオーケストラ作品を24ビット96Kでマルチトラック録音したものを紹介した。この作品は架空のアニメのサントラとして作られたもので勢いがよく明るく楽しい作品である。

さらに紹介したのは24ビット/96Kで収録したピアノ(ドビッシェ「版画」より)や32トラックで収録したフランスの作曲家サン＝サーンスの交響曲第3番「オルガン付き」を紹介した。ピアノに関しては近接音と3点吊り音、そしてセンター音をバラバラに収録してセミナー会場でミックスしてみた。サン＝サーンスのオルガンが活躍する交響曲第3番は練馬文化センターで行われた演奏会をローランドのR1000で24ビット48Kで収録したものだ。オルガンはローランドのC-300を使用しこの出力はラインで録音した。特に最終楽章の一番派手な部分を再生した。

ハイレゾオーディオというと、どうしてもなかなか手が出せない世界のようなイメージだが楽器メーカーやクリエイティブな音響メーカーの努力によって手軽に使えるレコーダーやオーディオインターフェイスでもハイクオリティのサウンドが手に入るようになり身近なものとなった。個人でもハイレゾ音源の制作は可能なので、是非楽しんで頂きたい。

慶應 SFC Open Research Forum 2014 「Web and Music」への参加について

MIDI規格委員会 WebMIDIWGリーダー 多田 幸生

W3Cのアジア地区ホストである慶應義塾大学SFC研究所様より「Open Research Forum 2014 (以下ORF)」への共催依頼をいただき、MIDI及びWeb MIDI APIの普及啓蒙を目的として参加させていただきました。

ORFは慶應義塾大学が日々の研究成果を社会に対して発信するために毎年1回開催されている大規模なイベントです。今年は六本木のミッドタウンをメイン会場として開催されました。

11月22日、ORFのサテライト会場であるニコファーレにて開催された「Web and Music」というタイトルの1時間のセッションは、会場に立ち見が出るほどの参加者にお集まり頂き、村井純先生(慶應義塾大学)・及川卓也さん(Google)・小松健作さん(エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ)・飛河和生さん(クリムゾンテクノロジー)・河合良哉さん(ヤマハ)の5名が登壇するパネルセッション形式で行われました。

ニコファーレの壁面ディスプレイには、渡邊正和さん(ローランド)が開発したVJアプリケーション(MIDIギターの出力を映像に変換するWebアプリケーション)による映像が表示され、ギター演奏に同期して表示される大迫力の映像に会場は興奮に包まれました。また、楽器フェア会場から遠隔でMIDIデータを送受信し、ドラム演奏ロボットを操作するWebアプリケーションが披露されるなど、WebとMIDIを組み合わせたデモが会場の注目を集めました。

AMEIからパネラーとして参加した飛河さん・河合さんからは、過去30年にわたるMIDIの歴史やWeb Musicハッカソンの優秀作品の紹介、今後のMIDIの可能性などが語られ、これまでMIDIに馴染みのなかった参加者にもMIDIの果たしてきた役割や今後の展開を十分にアピールできる内容となりました。

セッションの様子はニコニコ生放送でも中継され、延べ5万人以上の視聴者にご覧頂くことができました。また、各種Web媒体にも多数取り上げられるなど、大変有意義なイベントであったと思います。

本イベントの遂行にあたっては、Web MIDI WGメンバーの皆様はもちろん、AMEI事務局の皆様や、楽器フェア運営事務局の皆様にも多大なご協力を頂きました。関係者の皆様、本当にありがとうございました。

Music ChinaでのWeb MIDI API講演レポート

ヤマハ株式会社 河合 良哉

2014年10月8-11日の4日間、上海国際博覧中心(INTEX SHANGHAI)にてMusic Chinaが開催されました。Music Chinaは中国で開催されている誰もが無料で入場することのできる楽器見本市で、本年は国内外から1775のブランド、メーカーからの出展があり、86カ国から71,591人が会場に足を運んだとの公式の発表がありました。どちらの数字も前回より4.6%の伸びだったとのこと。

この見本市にて、中国の音楽市場へのMIDIへの正しい理解、また普及を目的としてTom White (MMA)、Bill Luan (Google)と共に次のような内容で講演を行ってきました。

- MIDIの歴史、使用用途について (Tom White)
- Webアプリケーション、並びにWeb Audio APIを使ったアプリケーションの紹介 (Bill Luan)
- Web MIDI APIについての説明と日本でやっているWeb Musicハッカソンの紹介、今後の展望について (河合)

50名ほどの方が会場に集まり、30年を超える歴史のあるMIDIは多くの電子楽器に採用されており、ここ1年間でWeb Platformでの採用に向けての仕様検討が活発にされていて、実際に採用されると開発者へのメリットとして開発者登録等を行う必要も、専用の開発環境をインストールする必要もなく、誰でもMIDIアプリを手軽に開発できること、またユーザーへのメリットとしてWebサイトを見る感覚でURLにアクセスすればアプリケーションを利用できる利点があること等を3名のプレゼンテーション、パネルディスカッションにてアピールできたと思っております。



慶應 SFC Open Research Forum 2014 「Web and Music」
- 六本木ニコファーレにて



パネリストの
小松さん(左)・河合さん(右)



パネリストの村井先生(左)・飛河さん(右)



VJアプリの説明をする渡邊さん(中央)と
ギター演奏を披露する村井先生(右)・及川さん(左)



Music China Web MIDI Presentation



Mr. Ryoya Kawai (Yamaha)



Mr. Tom White (MMA)

IEC TC100/TA10 東京国際会議出席報告

著作権・ソフト委員会 音楽電子出版部会
 部会長 徳弘 太郎

◆電子楽譜標準化への流れ

AMEIでは2011年に楽譜表示の規格化を検討するために、音楽電子出版部会を設置し、同年のIECメルボルン国際会議、2013年のIEC深圳会議にて、音楽電子出版の重要性を紹介するプレゼンテーションを行ってきました。特に、深圳においては、規格化の前段階としてのTechnical Report（以下TR）作成の方針が決まり、それを受けて本部会が検討を続けて参りました。

◆プレゼンテーションまで

今回のプレゼンテーションの目的は、TR作成に向けた承認を得ることで、形式張った物ではありませんが、村上前部会長より部会を引き受けたばかりの私にとっては大変な仕事でした。それでも、部会の皆様の豊富な知識、暖かいご支援により、期限ぎりぎりの一週間前に原案を提出することができました。その後、TA10のメンバーの皆様に多くの修正・支援をいただき、MMAからも表現の修正提案をいただくなど、各方面の皆様のご支援のもと、国際会議での発表にふさわしい内容の物ができ上がったのは発表の前日という有り様でした。

◆会議の進行

IEC総会は巨大な国際会議で、多くの会議が同時並行で開催されます。今回の、TA10は土曜の夕方17時開催という異例の時間帯での開催となりました。写真のように多くの委員とエキスパートが、日

本だけでなく、イギリス、カナダ、ドイツから集まり、AMEIからは飛河委員長、戸叶委員長に徳弘が参加しました。私たちのプレゼンテーションは6番目の議題、Future Projectsの一つとして取り上げられ、楽譜出版の特性、電子楽譜の現状、標準化による市場成長への期待感などに加え、具体的なTR作成のロードマップを、質疑応答を含めた15分程で説明しました。反応は概ね好意的であり、発表後の休憩では、自身演奏者で作曲もするというカナダの委員から、興味深い題材のため、是非議論を進めて欲しいとの個人的なご意見をいただくこともできました。その後、会議の結論として、代表団体であるAMEIに2015年6月を目標にTRを作成する要請がなされました。

◆会議の外で

会議終了後、戸叶委員長のアレンジにより、出席メンバーの大半で、打ち上げを行いました。日本語、英語が入り乱れる中、各国の委員の人となり、豊富な経験を知ることができ、非常に有意義な時間でした。

◆おわりに

会議発表の準備は想像以上に大変で、皆様のご支援なしには完成させることが出来なかったと思います。公式文書としてのTRの作成は、それにも増して困難な課題となりますので、これまでのご支援に感謝するとともに、今後の一層のご協力を賜りますよう、この場を借りてお願いしたいと思います。



IEC TC100/TA10 東京国際会議出席メンバー



78th IEC General Meeting in Tokyo 協賛各社

※ IEC : International Electrotechnical Commission (国際電気標準会議)

ISO,ITU と並ぶ世界の3大公的国際標準化機関の一つ。IECは技術分野別に百以上の組織があり、AMEIはTC100委員会に所属するTA10部会(電子書籍規格標準化)との連携で、MIDI規格の公的国際標準規格化を進めている。電子楽譜は今回の東京大会でTR作成承認を得て規格標準化に向けての調査を開始する。

東日本大震災、並びに福島第一原子力発電所事故により
被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。
被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

会員名簿

50音順 2014年12月現在

<p>あ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Apple Japan 合同会社 ● 株式会社アムタス <p>い</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 株式会社インターネット <p>え</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 株式会社エクシング ● 株式会社エムティーアイ <p>か</p> <ul style="list-style-type: none"> ● カシオ計算機株式会社 ● 株式会社河合楽器製作所 <p>く</p> <ul style="list-style-type: none"> ● クリプトン・フューチャー・メディア株式会社 ● クリムゾンテクノロジー株式会社 <p>こ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 株式会社コルグ <p>し</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 株式会社シーミュージック ● JVC ネットワークス株式会社 ● 島村楽器株式会社 ● 学校法人尚美学園 ● 株式会社シンクパワー <p>す</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 株式会社ズーム ● 株式会社鈴木楽器製作所 ● 株式会社スリック 	<p>せ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● セイコーインスツル株式会社 ● 株式会社セガ <p>た</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 株式会社第一興商 ● 株式会社タムラ製作所 <p>て</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ティアック株式会社 <p>と</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 東映ビデオ株式会社 ● 株式会社ドワンゴ <p>な</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ナクソス・ジャパン株式会社 <p>に</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学校法人片柳学園 日本工学院専門学校・ 日本工学院八王子専門学校 ● 一般社団法人 日本シンセサイザープログラマー協会 <p>は</p> <ul style="list-style-type: none"> ● パイオニア株式会社 <p>ふ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 株式会社フェイス ● 株式会社フェイス・ワンダワークス ● 株式会社フットレック <p>み</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ミュージックノート株式会社 	<p>や</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ヤマハ株式会社 ● 一般財団法人ヤマハ音楽振興会 ● 株式会社ヤマハミュージックメディア <p>ら</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 株式会社ラグナヒルス <p>り</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 株式会社リットーミュージック <p>ろ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ローランド株式会社 <p style="text-align: center;">〈正会員会社 39 社〉</p> <p style="text-align: center;">* 賛助会員</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 中音公司 (中華人民共和国) ● 株式会社博秀工芸 ● (有) 東京堀田制作集団 ● 株式会社ミュージックトレード社 <p style="text-align: center;">〈賛助会員会社 4 社〉</p>
---	--	--

新年の挨拶

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、消費税増税の影響を受け下半期の景気は、なかなか厳しい状況となりました。年が明けた本年こそは、反転上昇し長期に亘るデフレからの脱却を念じてやみません。AMEIとしましても、MIDI関連については、MIDI規格の国際標準化やWeb MIDIの標準化、著作権の利用については、新たな環境へ向けてのルール作り等多くの課題があり、会員企業の皆様には、今年もこれらの課題解決に向けた活動を引き続き宜しく願い申し上げます。

22.01 - 25.01.2015

the **NAMM**
show¹⁵

MIDI 検定 2 級 2 次試験実施のお知らせ

MIDI LICENSE
平成26年度
[MIDI検定] 第16回
● ミュージッククリエイターのための認定制度
MIDI検定2級2次試験
[試験期間] 2015・2/21(土)~2/24(日)

申し込み期 2014・12/8(月)~2015・1/23(金)

AMEI NEWS Vol.55 / 2015.1.9
一般社団法人音楽電子事業協会 機関誌
発行：一般社団法人音楽電子事業協会 事務局
〒101-0061 東京都千代田区三崎町 2-16-9 イトビル 4F
TEL.03-5226-8550 FAX.03-5226-8549
発行人：岩崎修三
編集人：石黒士郎 (広報委員会)
編集協力：株式会社 博秀工芸
ホームページアドレス：<http://www.amei.or.jp/>